

令和2年3月10日

## 「新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策」について

旭川荘厚生専門学院

- 学院内においては、飛沫・接触感染予防を心がけるために、出入り口のアルコール消毒、マスク着用、咳エチケット、体調不調者は申し出する等、留意しながら生活する。
- 教室は3時間ごとに換気をする。また、ドアノブなど多数の人が触れる部分は、最低1日に3回消毒する。  
(アルコール使用)
- トイレは、常時換気を行うとともに、定期的な便座の消毒を行う。(バイオトロールで便座、ドアノブ、タンクのレバー、蛇口等)
- 同居している家族に風邪症状がある場合は、登校している間もおおむね3時間ごとに検温を行うなど健康チェックを厳重に行う。

### 1. 「換気が悪く」「人が密に集まって過ごすような空間」「不特定多数の人が接触するおそれが高い場所」は集団(クラスター)感染を生み出す危険があるため避けること。

1) 行事・交流等、人混みを極力避ける。

⇒コンサート、映画館、カラオケ、スポーツジム、屋形船、ビュッフェスタイルの会食、麻雀、スキーのゲストハウス、密閉された仮設テントなどは避ける。

⇒公共交通機関を利用したの通学や移動は、マスクを着用する。

電車・バスの乗車時は他者との間隔をなるべく空ける。また、高速バスや飛行機などの密閉空間は特に注意する。

⇒買い物等はまとめて買いをし、人混みに行く回数を減らす。

⇒外出時は、マスクを着用する。

### 2. 咳エチケットの実施、こまめな手洗い、うがいの励行。

外出先から戻った場合は、必ず石鹸での手洗いかアルコール消毒を行うことを徹底。

### 3. 風邪や発熱などの軽い症状が出た場合は、電話で学院に報告し、登校するかどうかの指示を受ける。

⇒以下の場合、厚生労働省の指針に従って県の「帰国者・接触者相談センター」に相談。

\*風邪症状や37.5度以上の発熱が4日以上続いている場合

\*強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある場合

※岡山県の「帰国者・接触者相談センター」に相談した場合は、その結果を担任に報告する。

「帰国者・接触者相談センター」[TEL:086-226-7877](tel:086-226-7877) 21時以降は各管轄の保健所へ

(岡山県「新型コロナウイルス感染症に関するお願い」のパンフレット参照)

### 4. 海外渡航は当面、自粛する。予定がある場合は、必ず事前に学院に報告する。

### 5. マスク、アルコールの不足に伴い、家族・友人等と協力して少しずつ確保する。

\*正しい着用方法:鼻・口・顎を覆う(鼻部分を鼻すじにフィットさせる。特に鼻と口の両方を確実に覆うことを心がける。マスクを外す時は、マスクの表面に触れないように注意する。

本学院生は、医療福祉施設での実習、アルバイト等に携わる立場であるという自覚をもち、最新情報の把握に努め、感染拡大を防止する意識をもった行動をしましょう。

※岡山県のホームページに感染症対策の最新情報が掲載されているため、最新情報の把握を心がけましょう。

参考資料:旭川荘新型コロナウイルス肺炎対策本部、厚生省資料、岡山県保健福祉部健康推進課